

水環境保全に関する国内最大の学会への活動支援 日本水環境学会「ライオン賞」の受賞者決定

ライオン株式会社（代表取締役社長・掬川 正純）は、水環境保全に関する国内最大の学会である日本水環境学会において「年会学生ポスター発表賞（通称：ライオン賞）」を授与しています。15回目となる「ライオン賞」は2023年3月16日（木）に第57回日本水環境学会年会（2023年3月15日～17日 於：愛媛大学（愛媛県）、オンライン ハイブリット開催）にて発表・表彰され、最優秀賞は北海道大学の福井健暉さんに決定いたしました。

1. 日本水環境学会「ライオン賞」について

当社は、「洗うこと」を通じて、常に水との深い関わりのなかで事業を展開し、1960年代には生分解性の高い洗浄成分を配合した洗剤、1970年代には業界に先駆けた無リン洗剤、近年では節電や時短にも繋がる節水型製品など、各時代の最先端技術で水環境に配慮した製品を開発してきました。こうした水資源保護活動の一環として、当社では日本水環境学会において2009年に「ライオン賞」を創設し、優秀な研究活動を表彰することにより、若手研究者への支援を行っています。この度、「第57回日本水環境学会年会」において、15回目となる「ライオン賞」の各賞が決定しましたのでお知らせいたします。

2. 第57回 日本水環境学会 年会学生ポスター発表賞「ライオン賞」受賞者・受賞テーマ

（氏名は五十音順・テーマ名称は「日本水環境学会」講演プログラムより）

【最優秀賞】

氏名	学校名	テーマ
福井 健暉	北海道大学	水道原水に存在する病原ウイルスの感染価評価：活性炭とUF膜を組み合わせたウイルス濃縮法の構築と適用

【優秀賞】

氏名	学校名	テーマ
浅川 高志	北海道大学	培養困難なヒトノロウイルスの浄水処理性評価に向けた高感度に定量可能な革新的ウイルス様粒子の創製
石崎 翔大	北海道大学	緑色蛍光タンパク質遺伝子導入大腸菌を用いた活性汚泥フロックの大腸菌吸着部位の解明
恵美須屋 彩瑛	東洋大学	亜硝酸と窒素負荷が及ぼすN ₂ O発生量への影響
大塚 花	大阪大学	ユーグレナの従属栄養培養に有望な有機物を用いたバイオマス・パラミロン生産特性
小原 紀子	北海道大学	活性汚泥における多剤耐性プラスミドの拡散経路の可視化—蛍光タイムラプスイメージングによるプラスミド水平伝播と垂直伝播の定量—
北村 幸太郎	東京農工大学	有機物除去・アンモニア回収を目指した微好気性グラニュール法の開発
國光 春花	秋田県立大学	マンガン含有坑産水の生物処理における低栄養細菌の有機物供給者としての役割
小島 弘幹	京都大学	熱分解GC-MSによるポリマー混合物中の高分子吸収剤（SAP）の定性および定量方法の検討と下水試料への適用
鈴木 雄介	岐阜大学	サスペクトスクリーニングによる高頻度検出物質の絞り込みを活用した多成分医薬品類の環境水中存在実態調査
鈴木 蓮	東北大学	正則化回帰手法を用いた二次処理下水中ロタウイルスの塩素消毒モデルの構築
高井 麻帆	北海道大学	DHSろ床を用いたPET原料製造廃水処理UASB反応器の後段処理技術の開発
永妻 志間	松江工業高等専門学校	Click chemistryを利用した機能遺伝子に基づくアナモックス細菌の検出
萩原 大祐	東洋大学	Mn(II), Zn(II)が1,4-ジオキサンの生物処理性能に及ぼす影響
山本 智也	北里大学	病院排水中における薬剤耐性遺伝子の水平伝播に影響を及ぼすインテグロン動態の解明
吉田 菜々穂	秋田県立大学	原油汚染土壌を用いた微生物燃料電池による天然ガス生成への影響の検討
米澤 璃穂	京都大学	<i>Chlorella sorokiniana</i> の油脂抽出を想定した高分子凝集剤25種のスクリーニング試験

当社は、今後も環境保全及びその活動支援に努め、サステナブルな社会への貢献を目指してまいります。

(参考)

◎「日本水環境学会」及び年会学生ポスター発表賞「ライオン賞」について

【公益社団法人 日本水環境学会】

水環境に関連する分野の学術的調査や研究、知識の普及、健全な水環境の保全と創造への寄与、学術・文化の発展への貢献を目的とした公益法人。学術・技術の情報発信ツールとしての学術雑誌の発刊、会員相互の闊達な意見交換の場としての日本水環境学会年会と日本水環境学会シンポジウムの開催、次世代を担う人材育成や水環境文化活動の普及を目指した各種表彰活動、国際交流・国際協力を目的とした英文学術雑誌の発行、国際会議の開催や表彰活動、最新の情報を普及するためのセミナーの開催など、幅広く活動している。

【年会学生ポスター発表賞「ライオン賞」概要】

表彰対象：年会においてポスター発表を行う大学、高等専門学校、短期大学在学の学生会員

目 的：優秀な研究活動を表彰することによる若手研究者への支援

選考方法：学会参加者による投票にて決定

以 上

お問い合わせ窓口
<報道関係の方> ライオン株式会社 コーポレートコミュニケーションセンター
03-6739-3443